Root. 鍋島

お子さんの命を守る防犯標語

いかのおすし



「いかのおすし」とは、お子さんが知らない人から声をかけられた時に被害にあわない為の具体的な行動を示したものです。大切なお子さんを守るために、親子で一緒に繰り返し確認することがとても大切です。



不審者かどうかは
見た目ではわかりません
どんな人が怪しいのか、
どんな場所が危険なのかを
具体的に伝えて
お子さんと一緒に
イメージしてみてください

いか



しらないひとには
ついていかない

の



こえをかけられても
くるまにはのらない

お



「いやだな」「こわいな」
とおもったら
おおきなこえでさけぶ

す



「いやだな」「こわいな」
とおもったら
すぐにげる

し



こわいことがあったり
あやしいひとをみたときは
おとなのひとにしらせる

「いかのおすし」だけでは大切なお子さんを守ることはできません！！

- ☑ お子さんと一緒に通学路やよく行く場所に危険がないか確認しましょう
- ☑ お子さんと一緒に危険があった時に逃げる場所や連絡する場所を確認しましょう
- ☑ 一人でいると不審者に狙われやすいので、お子さんを一人にしないように日頃から心がけましょう

教室での取り組み

鍋島では、教室に不審者が侵入してきたときの対応を確認しました。

出典：厚生労働省「おやこでまなぼう！「いかのおすし」で毎日安全！」
https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/higai/kodomo/kodomo110.html